

報道関係各位

働く女性の「目もと」に関する意識調査

株式会社ナガセビューティケア

長瀬産業株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:朝倉 研二)の100%子会社である、株式会社ナガセビューティケア(東京都中央区日本橋本町1-2-8/代表取締役社長:千葉 敏英)では、このたび、全国の20歳代~60歳代の働く女性を対象とした‘働く女性の「目もと」に関する意識調査’と題したアンケート調査を実施いたしました(調査期間:2021年6月22日~24日、有効回答数500人)。ここに調査結果がまとめられましたのでご報告いたします。

マスク時代のコミュニケーションで大事なのは、 「目の表情」と「声のトーン」

目もとの状態で人に与える印象は大きく左右される！
マスク着用で余計に気になる目もとの悩みには、マッサージやスペシャルケアを



トピックス

- マスクの着用で、最も意識するようになったパーツは「目もと」(44%)
- マスクの着用で費やす金額と時間が減ったのは「リップメイク」。
増えたのは「肌全体のスキンケア」
- 目もとのお手入れで使用しているアイテムは、「目もと用クリーム」(40%)
- 目もとケアで重視していることは「保湿」が7割。
年代が上がるごとに「シワ改善」「ハリを高める」が増加
- マスク着用で、目もとの悩みを「以前より感じるようになった」約4割。
お悩みトップ3は「クマ」「シワ」「くすみ」
- マスクの日常で、会った人に印象づけるのは「目もとの表情」(68%)、「話し方」(43%)、
「声の印象」(35%)が上位

【この件に関するお問い合わせ先】

テレワーク実施に伴い、お問い合わせにつきましては pr@nagase.co.jp まで
メールにてご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ナガセビューティケア 広報担当 小谷内

HP アドレス <https://nbc.jp> ※調査結果はウェブサイトからもご覧頂けます

働く女性の「目もと」に関する意識調査

【調査概要】

アンケート対象：全国の有職女性500名

年齢：20歳代～60歳代(20代125人、30代125人、40代125人、50代125人、60代125人)

地域：全国

調査方法：インターネットによるアンケート記入式

調査時期：2021年6月22日～24日

【調査項目一覧】

- 【1】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常になってからのメイクとスキンケアの意識に近いものをそれぞれ一つ教えてください。…………P.6
- 【2】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常の今、お顔のスキンケアやメイク時により意識するようになったパーツを教えてください。…………P.7
- 【3】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常になってから現在行っているメイクおよびスキンケアの金額と時間の増減についてあてはまるもの一つ選んでください。…………P.7
- 【4】 あなたは普段、アイメイクにどのくらいお金・時間をかけていますか。該当する金額・時間をお選びください。…………P.8
- 【5】 あなたは普段、目もとのスキンケアにどのくらい時間をかけていますか。該当する時間をお選びください。…………P.9
- 【6】 目もとのメイクアイテムの使用状況について教えてください。…………P.10
- 【7】 目もとのスキンケアアイテムやケアの方法について教えてください。…………P.10
- 【8】 目もとケアで重視していることは何ですか。…………P.11
- 【9】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから目もとの悩みをより感じるようになりましたか。…………P.11
- 【10】 より感じるようになった悩みを全て選んでください。…………P.12
- 【11】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから、人と会う時の第一印象をどの部分から感じていますか。また、ご自身が人と会う時、どのような部分に気をつけていますか…………P.12
- 【12】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから、コミュニケーションを取る上での不満や悩みについて全て選んでください。…………P.13
- 【13】 改善するために工夫していることに近いものを選んでください。…………P.13
- 【14】 マスク着用の日常になってから、人とコミュニケーションを取る上で何が一番大事だと感じますか。…………P.14

働く女性の「目もと」に関する意識調査の目的

コロナ禍によってマスクの着用が日常になり、顔の中で唯一見えるパーツが目もとだけになった今、働く現代女性にとって、“目もと”はどのような位置づけになったのか、プライベートや仕事のシーンで、目もとに対してどのような意識や行動に変化があったのかを探りました。

■ マスク着用でやめてしまったものは「リップメイク」、 入念にしているのは「肌のスキンケア」が最多

マスクを着用する日常でのメイクとスキンケアの意識について質問したところ、「以前と変わらずしている」という回答が多かったものの、「リップメイク」のみ「以前はしていたが、止めてしまった」(34.2%)という回答が最も高くなりました。

口もとを見られる機会が少なくなったほか、マスクにリップが付着してしまうことを気にされる方が多いことが理由かもしれません。

また、肌全体/目もと/その他のパーツ(鼻、口もと、おでこ)のスキンケアの項目において、「以前よりも入念にしている」の回答がメイクのどの項目よりも高くなりました。コロナ禍のマスク着用の日常では、スキンケアが以前よりも重視されているといえそうです。(→調査結果の詳細はP. 6)

■ マスクの着用で、最も意識するようになったパーツは「目もと」

マスクを着用する日常において意識するようになったパーツを質問したところ、「目もと」(44.2%)が最も高い回答になり、肌全体(32.0%)、首(デコルテ)(13.0%)と続きました。

顔の中で唯一見えるパーツとなった目もとへの意識が高まったといえそうです。

(→調査結果の詳細はP. 7)

■ マスクの着用で、費やす金額と時間が減ったのは「リップメイク」 金額と時間が増えたのは「肌全体のスキンケア」が最多

マスク着用の日常でのメイクおよびスキンケアの項目別に金額について質問したところ、「変わらない」と答えた方が最も多くなったものの、「リップメイク」は約半数が「減った」と答えました。

また、「肌全体のスキンケア」では、約2割が「増えた」と回答し、他の項目よりも差をつけて多くなり、意識の変化と連動する結果になりました。(→調査結果の詳細はP. 7)

時間についても同様に、「変わらない」と答えた方が最も多くなったものの、「リップメイク」は約半数が「減った」と回答。かける時間が「増えた」のは「アイメイク」が最も多くなりました。

「肌全体」のスキンケアでは、「増えた」という回答が、他の項目よりも最も多くなりました。

(→調査結果の詳細はP. 8)

■ 「目もと」を意識するも、アイメイクにかかる費用は、一か月あたり1,000円未満が5割

1ヵ月あたり、アイメイクにどのくらいお金をかけているかを質問したところ、全体の48.5%が1,000円未満と回答し、最も多い価格帯になりました。

年代別で比較すると、1,000円未満では40代と50代、2,000円以上の価格帯では20代と30代の回答が最も多くなり、若年層の方がアイメイクに費用をかけている傾向があることがわかりました。

(→調査結果の詳細はP. 8)

■ アイメイクにかかる時間は、一日10分未満が8割

一日あたり、アイメイクにどのくらい時間をかけているかを質問したところ、全体の78.8%が10分未満と回答し、年代別で比較すると40代から60代までが、より短時間でアイメイクをしている傾向があることがわかりました。
(→調査結果の詳細は P. 9)

■ お手入れにかかる時間も、一日10分未満が約9割 アイメイクと比較すると、短時間の傾向に

一日あたり、目もとのスキンケアにどのくらい時間をかけているかを質問したところ、全体の86.6%が10分未満と回答。アイメイクと比較すると、目もとのスキンケアにはより時間をかけていないという結果となりました。
(→調査結果の詳細は P. 9)

■ マスク着用で、メイクアイテムの変化はほとんどないものの 止めてしまったものは「マスカラ」が最多

メイクアイテムの使用状況について質問したところ、マスク生活前からの使用アイテムは「アイブロー」(72.6%)が最も多く、「アイシャドウ」(65.0%)、「アイライナー」(46.6%)、「マスカラ」(43.8%)と続きました。マスク生活前後の使用アイテムの変化はあまりないものの、止めてしまった最も多いアイテムは「マスカラ」(8.4%)という結果になりました。
(→調査結果の詳細は P. 10)

■ 目もとのお手入れで使用しているアイテムは、「目もと用のクリーム」

スキンケアアイテムやケアの方法について質問したところ、「目もと用のクリーム」がマスク生活前から使用(31.0%)、マスク生活後から使用(7.4%)しているアイテムとして、ともに最も多い回答になりました。
(→調査結果の詳細は P. 10)

■ 保湿が大事・全体の7割が回答 年代が上がるごとに減少し、「シワ改善」、「ハリを高める」が増加

目もとケアで重視していることを質問したところ、全体の69.8%が「保湿」と回答し最も多くなりました。年代別で比較すると、「保湿」は年齢が上がるにつれて回答が減少し、一方、全体2位の「シワ改善」(37.2%)、4位「ハリを高める」(21.6%)は、回答が増加する結果になりました。
(→調査結果の詳細は P. 11)

■ マスク着用で、目もとの悩みを「以前より感じるようになった」約4割

マスク着用の日常での目もとの悩みについて質問したところ、全体の36.2%が、「前よりも感じるようになった」「やや感じるようになった」と回答しました。「以前から感じている」(21.6%)を合わせると、過半数が目もとの悩みを感じていることがわかりました。
(→調査結果の詳細は P. 11)

■ マスク着用での目もとの悩み

トップ3は、「目もとのクマ」「目尻のシワ」「目もとのくすみ」

マスク着用後の日常で、目もとの悩みを「感じるようになった」「やや感じるようになった」方に悩みの内容を質問したところ、「目もとのクマ」(47.0%)が最も多く、「目尻のシワ」(45.9%)「目もとのくすみ」(39.8%)と続きました。(→調査結果の詳細はP. 12)

■ マスクの日常で、会った人に印象づけるのは「目もとの表情」

「話し方」「声の印象」が上位

マスク着用後の日常で、人と会う時の第一印象と、気を付けていることを質問したところ、ともに「目もとの表情」が最も多い結果になりました。目もとの表情は、マスクの日常において人の印象を大きく左右すると、多くの方が認識して実践していることがわかりました。(→調査結果の詳細はP. 12)

■ マスク着用でのコミュニケーション、悩むのは

「声が聞こえづらい」「相手の表情を読み取りづらい」

マスク着用後の日常でのコミュニケーション上の不満や悩みについて質問したところ、「声が聞こえづらい」(62.8%)が最も多く、次いで「相手の表情を読み取りづらい」(55.0%)と続きました。相手が伝えたいことを口もとから汲み取ることが難しくなったことを悩ましく感じる方が多いようです。

(→調査結果の詳細はP. 13)

■ コミュニケーションを良くするために工夫しているのは「声を大きく、はきはきと会話をする」

「うなずいたり、あいづちを大きくする」

マスク着用後の日常でのコミュニケーション上の工夫点について質問したところ、「声を大きく、はきはきと会話をする」「うなずいたり、あいづちを大きくする」との回答が、どの悩みにおいても(「声が聞こえづらい」「相手の表情を読みづらい」「自分の感情が伝わりづらい」「会話の間が取りづらい」)上位を占めました。(→調査結果の詳細はP. 13)

■ マスク着用でのコミュニケーションで大事なものは“目”の表情と“声”のトーン

マスク着用の日常でのコミュニケーションで大事なこと聞いたところ、「声を大きく・ハキハキと話す」(113人)と回答した方が最も多く、次いで「視線に気をつける・目を見る」(101人)、「目もとを大きく・表情を出す」(46人)と続きました。

【12】で多く挙げられていた、「声が聞こえづらい」「相手の表情を読み取りづらい」「自分の感情が伝わりづらい」といったマスク着用での悩みを解消する方法が上位に。口もとが隠れている分、“声”のトーンのほかに特に“目”の表情を大事にしている方が多いことがわかりました。(→調査結果の詳細はP. 14)

【1】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常になってからのメイクとスキンケアの意識に近いものをそれぞれ一つ教えてください。

※1 ベースメイク: 日焼け止め・下地、ファンデーション(リキッドまたはパウダー)、フェイスパウダーを指します。
 ※2 スポットメイク: コンシーラーなど部分的にカバーをするメイクを指します。

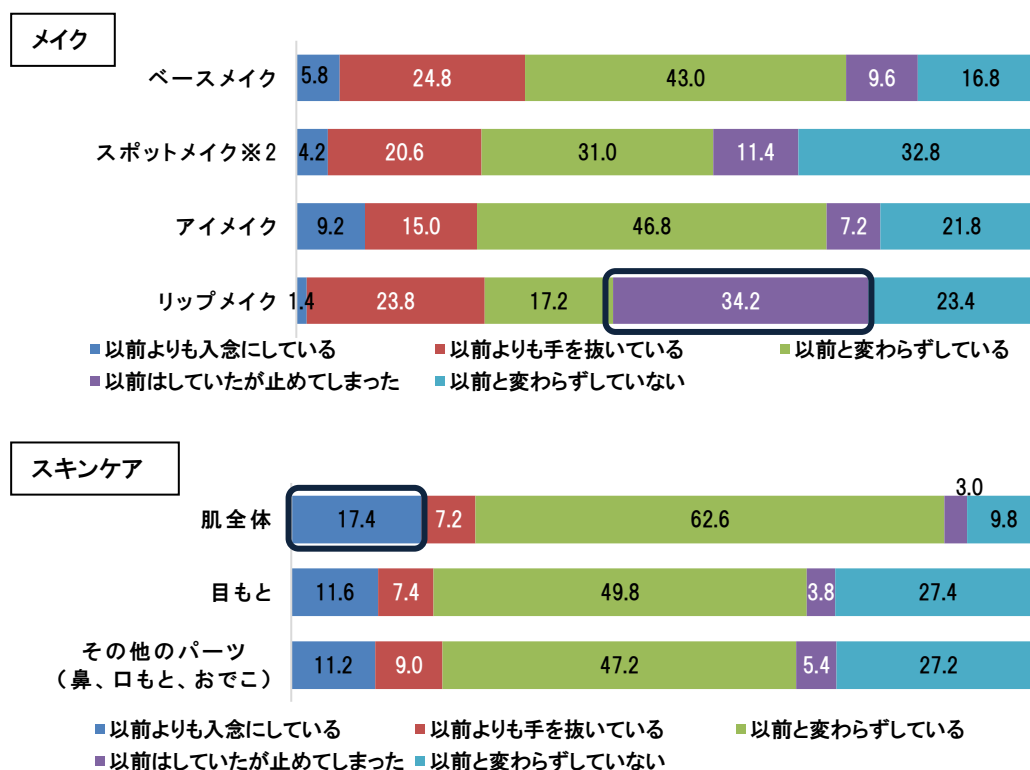
マスク着用でやめてしまったものは「リップメイク」、 入念にしているのは「肌のスキンケア」が最多

マスクを着用する日常でのメイクとスキンケアの意識について質問したところ、「以前と変わらずしている」という回答が多かったものの、「リップメイク」のみ「以前はしていたが、止めてしまった」(34.2%)という回答が最も高くなりました。

口もとを見られる機会が少なくなったほか、マスクにリップが付着してしまうことを気にされる方が多いことが理由かもしれません。

また、肌全体/目もと/その他のパーツ(鼻、口もと、おでこ)のスキンケアの項目において、「以前よりも入念にしている」の回答がメイクのどの項目よりも高くなりました。コロナ禍のマスク着用の日常では、スキンケアが以前よりも重視されているといえそうです。

【全体(%) n=500、単一回答】

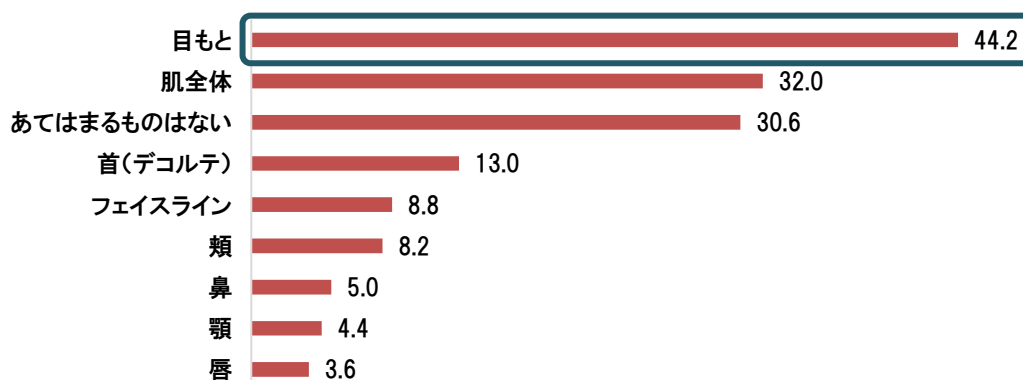


【2】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常の今、お顔のスキンケアやメイク時により意識するようになったパーツを教えてください。

マスクの着用で、最も意識するようになったパーツは「目もと」

マスクを着用する日常において意識するようになったパーツを質問したところ、「目もと」(44.2%)が最も高い回答になり、肌全体(32.0%)、首(デコルテ)(13.0%)と続きました。顔の中で唯一見えるパーツとなった目もとへの意識が高まったといえそうです。

【全体(%) n=500、複数回答】



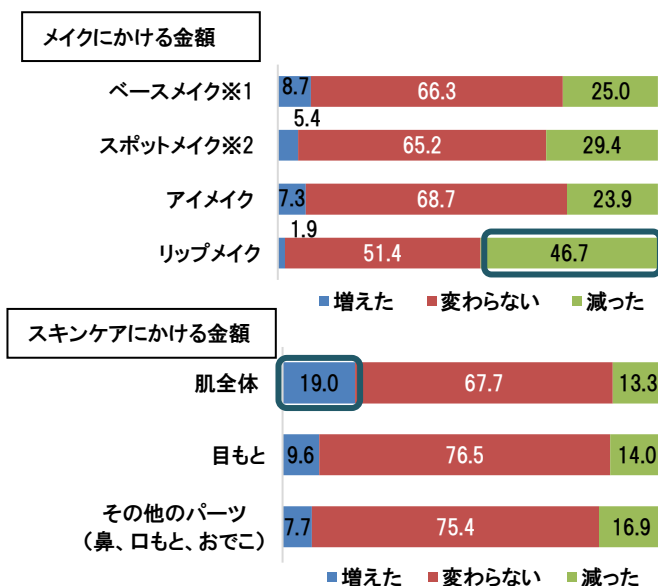
【3】 コロナ禍の影響でマスクを着用する日常になってから現在行っているメイクおよびスキンケアの金額と時間の増減についてあてはまるもの一つ選んでください。

※1 ベースメイク:日焼け止め・下地、ファンデーション(リキッドまたはパウダー)、フェイスパウダーを指します。

※2 スポットメイク:コンシーラーなど部分的にカバーをするメイクを指します。

マスクの着用で、費やす金額と時間が減ったのは「リップメイク」 金額と時間が増えたのは「肌全体のスキンケア」が最多

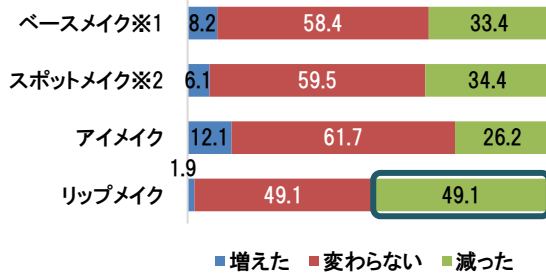
【全体(%) 単一回答】



マスク着用の日常でのメイクおよびスキンケアの項目別に金額について質問したところ、「変わらない」と答えた方が最も多くなったものの、「リップメイク」は約半数が「減った」と答えました。

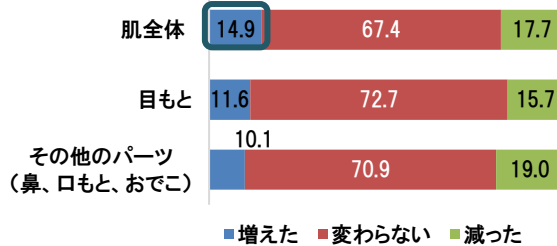
また、「肌全体のスキンケア」では、約2割が「増えた」と回答し、他の項目よりも差をつけて多くなり、意識の変化と連動する結果になりました。

メイクにかかる時間



時間についても同様に、「変わらない」と答えた方が最も多くなったものの、「リップメイク」は約半数が「減った」と回答。かける時間が「増えた」のは「アイメイク」が最も多くなりました。

スキンケアにかかる時間



「肌全体」のスキンケアでは、「増えた」という回答が、他の項目よりも最も多くなりました。

【4】あなたは普段、アイメイクにどのくらいお金・時間をかけていますか。該当する金額・時間をお選びください。

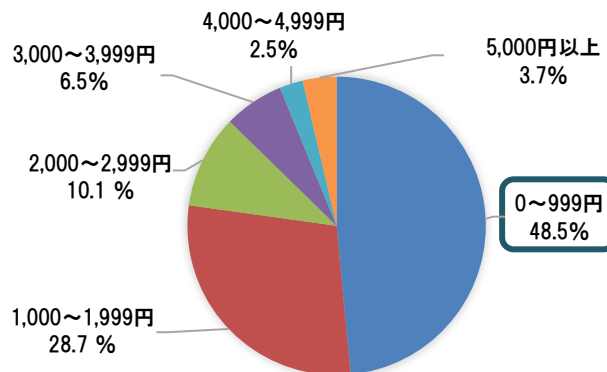
「目もと」を意識するも、アイメイクにかかる費用は、一か月あたり1,000円未満が5割

1ヵ月あたり、アイメイクにどのくらいお金をかけているかを質問したところ、全体の48.5%が1,000円未満と回答し、最も多い価格帯になりました。年代別で比較すると、1,000円未満では40代と50代、2,000円以上の価格帯では20代と30代の回答が最も多くなり、若年層の方がアイメイクに費用をかけている傾向があることがわかりました。

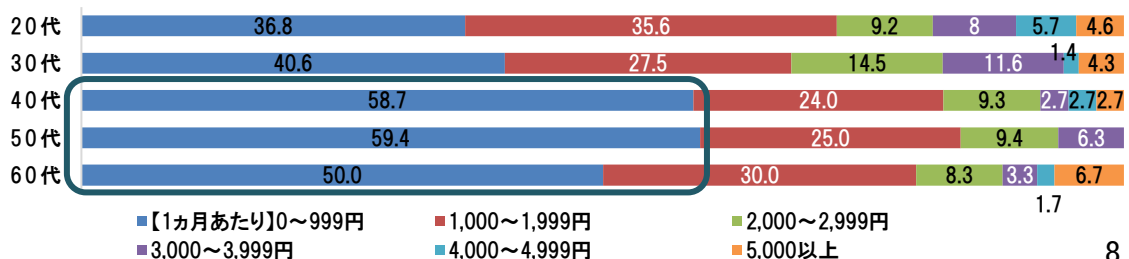
【(%) n=355 単一回答】

アイメイクの金額

【全体】

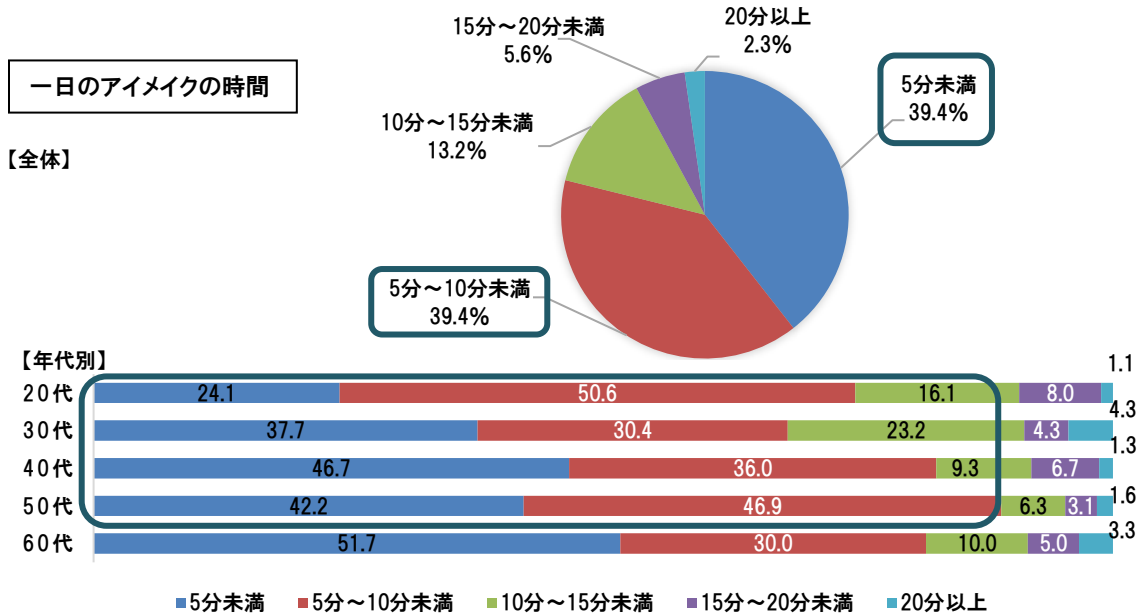


【年代別】



アイメイクにかかる時間は、一日10分未満が8割

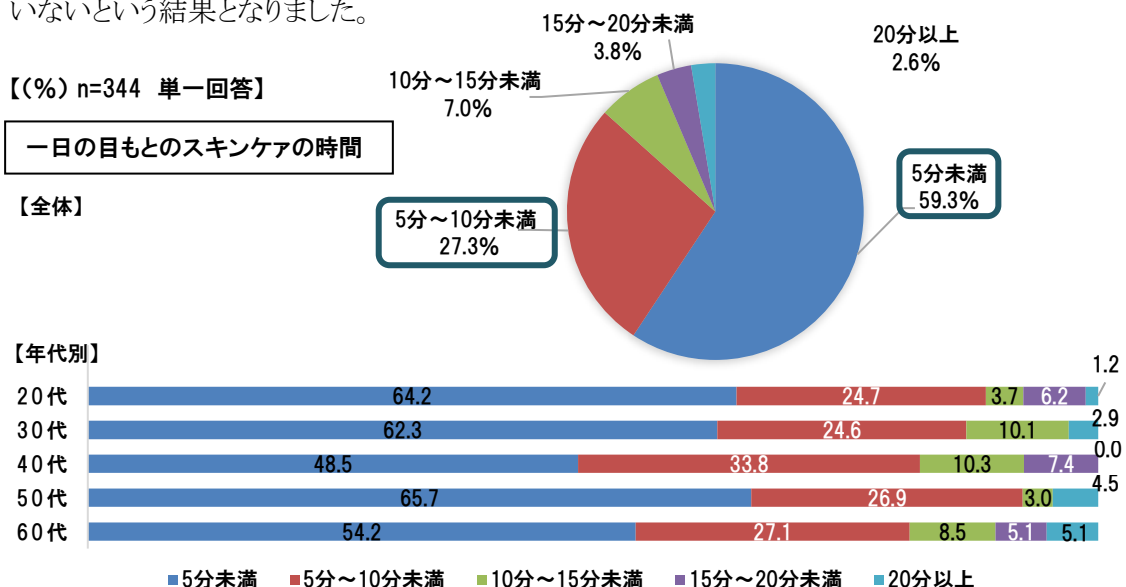
一日あたり、アイメイクにどのくらい時間をかけているかを質問したところ、全体の78.8%が10分未満と回答し、年代別で比較すると40代から60代までが、より短時間でアイメイクをしている傾向があることがわかりました。



【5】あなたは普段、目もとのスキンケアにどのくらい時間をかけていますか。該当する時間をお選びください。

お手入れにかかる時間も、一日10分未満が約9割 アイメイクと比較すると、短時間の傾向に

一日あたり、目もとのスキンケアにどのくらい時間をかけているかを質問したところ、全体の86.6%が10分未満と回答。アイメイクと比較すると、目もとのスキンケアにはより時間をかけていないという結果となりました。

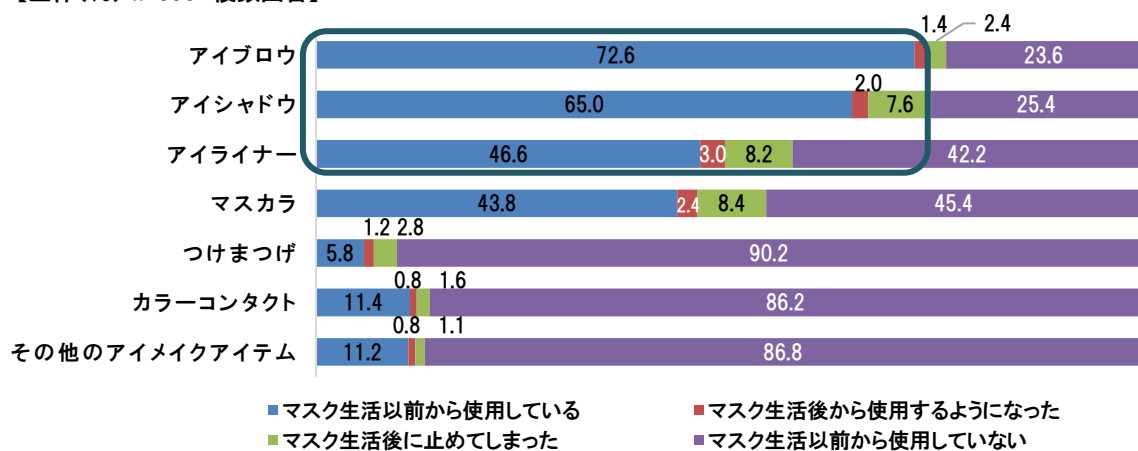


【6】 目もとのメイクアイテムの使用状況について教えてください。

マスク着用で、メイクアイテムの変化はほとんどないものの 止めてしまったものは「マスカラ」が最多

メイクアイテムの使用状況について質問したところ、マスク生活前からの使用アイテムは「アイブロウ」(72.6%)が最も多く、「アイシャドウ」(65.0%)、「アイライナー」(46.6%)、「マスカラ」(43.8%)と続きました。マスク生活前後の使用アイテムの変化はあまりないものの、止めてしまった最も多いアイテムは「マスカラ」(8.4%)という結果になりました。

【全体(%) n=500 複数回答】

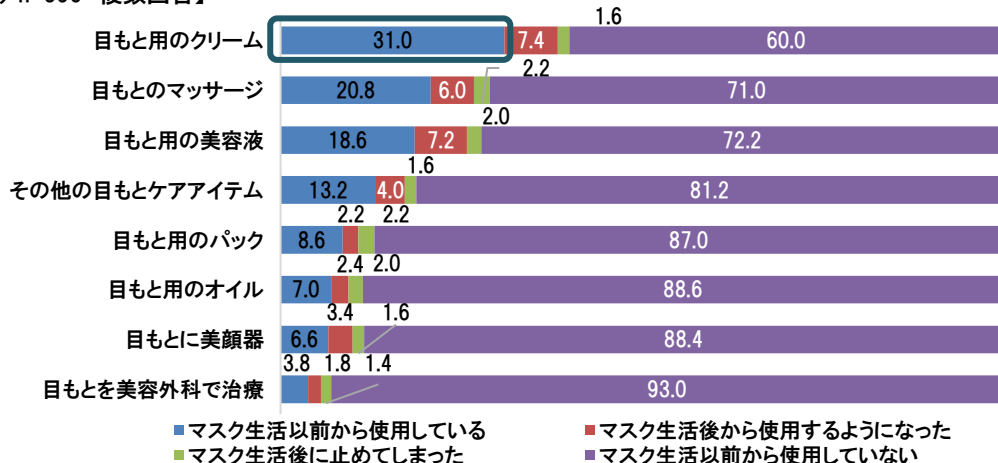


【7】 目もとのスキンケアアイテムやケアの方法について教えてください。

目もとのお手入れで使用しているアイテムは、 「目もと用のクリーム」

スキンケアアイテムやケアの方法について質問したところ、「目もと用のクリーム」がマスク生活前から使用(31.0%)、マスク生活後から使用(7.4%)しているアイテムとして、ともに最も多い回答になりました。

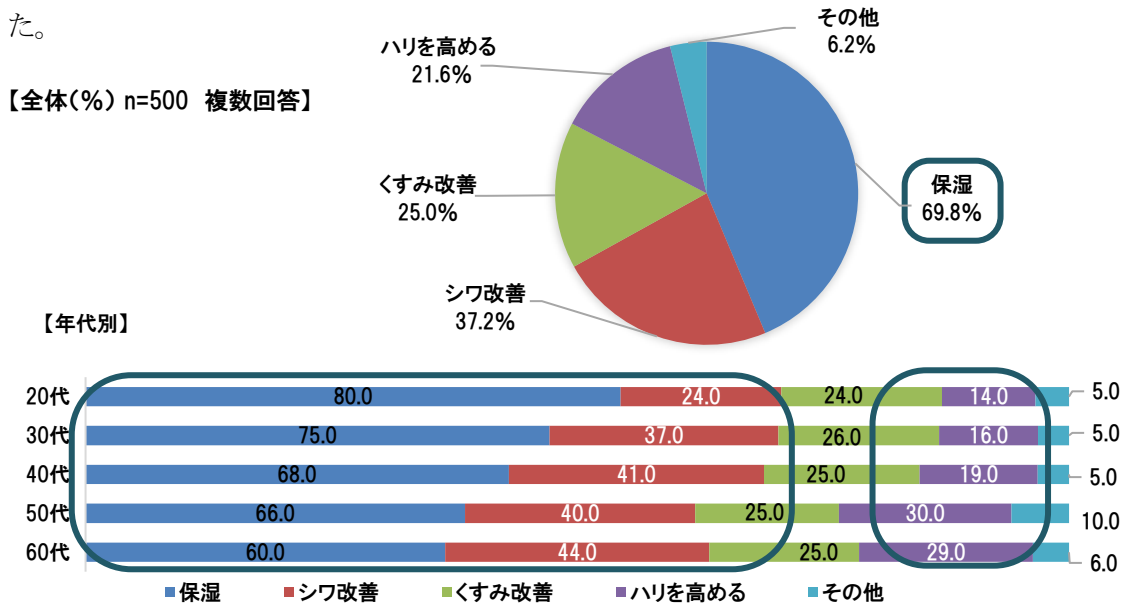
【全体(%) n=500 複数回答】



【8】 目もとケアで重視していることは何ですか。

保湿が大事・・・全体の7割が回答 年代が上がるごとに減少し、 「シワ改善」、「ハリを高める」が増加

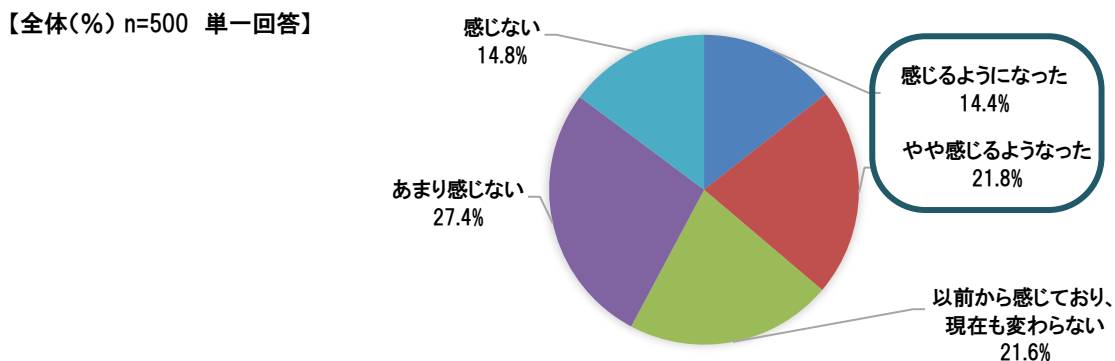
目もとケアで重視していることを質問したところ、全体の69.8%が「保湿」と回答し最も多くなりました。年代別で比較すると、「保湿」は年齢が上がるにつれて回答が減少し、一方、全体2位の「シワ改善」(37.2%)、4位「ハリを高める」(21.6%)は、回答が増加する結果になりました。



【9】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから目もとの悩みをより感じるようになりましたか。

マスク着用で、目もとの悩みを 「以前より感じるようになった」約4割

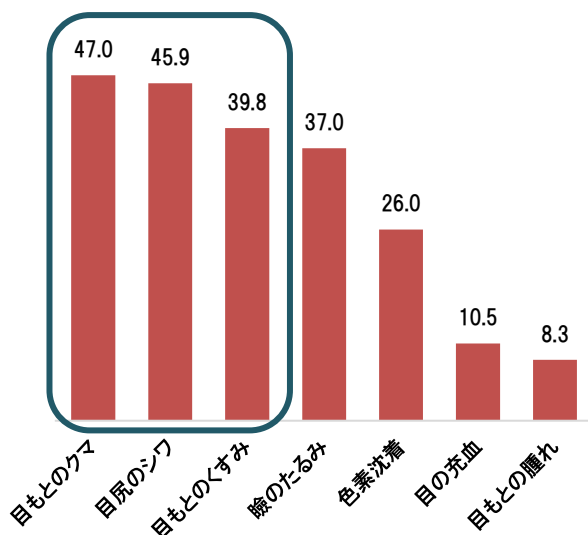
マスク着用の日常での目もとの悩みについて質問したところ、全体の36.2%が、「前よりも感じるようになった」「やや感じるようになった」と回答しました。「以前から感じている」(21.6%)を合わせると、過半数が目もとの悩みを感じていることがわかりました。



【10】【9】で「感じるようになった」「やや感じるようになった」と答えた方に質問します。より感じるようになった悩みを全て選んでください。

マスク着用での目もとの悩み トップ3は、「目もとのクマ」「目尻のシワ」「目もとのくすみ」

【(%) n=181 複数回答】



マスク着用後の日常で、目もとの悩みを「感じるようになった」「やや感じるようになった」方に悩みの内容を質問したところ、「目もとのクマ」(47.0%)が最も多く、「目尻のシワ」(45.9%)「目もとのくすみ」(39.8%)と続きました。

一時的な症状よりも、加齢や日頃の疲労が日常的に現れる悩みを改めて感じるようになった方が多いようです。

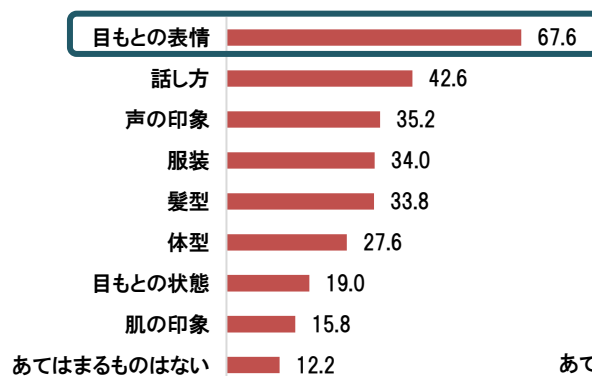
【11】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから、人と会う時の第一印象をどの部分から感じていますか。また、ご自身が人と会う時、どのような部分に気をつけていますか。それぞれ選んでください。

マスクの日常で、会った人に印象づけるのは 「目もとの表情」 「話し方」「声の印象」が上位

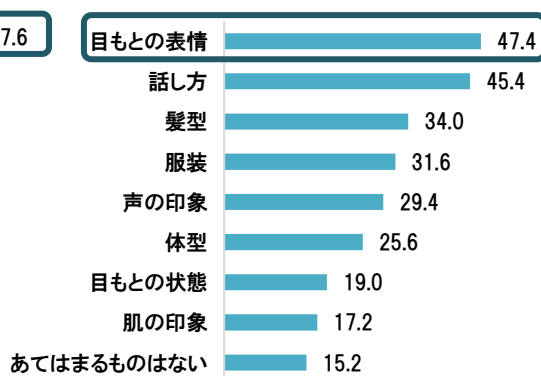
マスク着用後の日常で、人と会う時の第一印象と、気を付けていることを質問したところ、ともに「目もとの表情」が最も多い結果になりました。目もとの表情は、マスクの日常において人の印象を大きく左右すると、多くの方が認識して実践していることがわかりました。

【全体(%) n=500 複数回答】

人と会う時の第一印象



気を付けていること

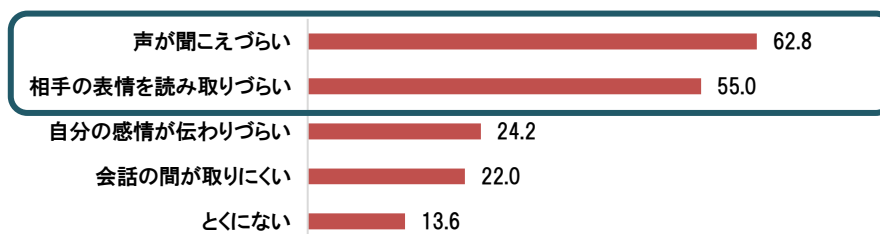


【12】 コロナ禍の影響でマスク着用の日常になってから、コミュニケーションを取る上での不満や悩みについて全て選んでください。

マスク着用でのコミュニケーション、悩むのは「声が聞こえづらい」「相手の表情を読み取りづらい」

マスク着用後の日常でのコミュニケーション上の不満や悩みについて質問したところ、「声が聞こえづらい(62.8%)」が最も多く、次いで「相手の表情を読み取りづらい」(55.0%)と続きました。相手が伝えたいことを口もとから汲み取ることが難しくなったことを悩ましく感じる方が多いようです。

【全体(%) n=500 複数回答】



【13】 【12】で回答いただいた方に質問します。改善するために工夫していることに近いものを選んでください。

コミュニケーションを良くするために工夫しているのは「声を大きく、はきはきと会話をする」「うなずいたり、あいづちを大きくする」

マスク着用後の日常でのコミュニケーション上の工夫点について質問したところ、「声を大きく、はきはきと会話をする」「うなずいたり、あいづちを大きくする」との回答が、どの悩みにおいても(「声が聞こえづらい」「相手の表情を読みづらい」「自分の感情が伝わりづらい」「会話の間が取りづらい」)上位を占めました。

声が聞こえづらい(%) n=314 複数回答

1	声を大きく、はきはきと会話をする	70.7
2	うなずいたり、あいづちを大きくする	40.4
3	身振りや手振りを大きくする	21.0
4	いつもよりオーバーに笑顔を作ったり大きな笑い声を出す	16.6
5	目を大きく動かしたりして表情を意識する	15.9
6	オーバーにリアクションする	14.3

相手の表情を読み取りづらい(%) n=275 複数回答

1	うなずいたり、あいづちを大きくする	62.5
2	声を大きく、はきはきと会話をする	35.6
3	目を大きく動かしたりして表情を意識する	32.4
4	身振りや手振りを大きくする	25.5
5	オーバーにリアクションする	19.6
6	いつもよりオーバーに笑顔を作ったり大きな笑い声を出す	18.5

自分の感情が伝わりづらい(%) n=121 複数回答

1	うなずいたり、あいづちを大きくする	66.9
2	声を大きく、はきはきと会話をする	47.9
3	目を大きく動かしたりして表情を意識する	45.5
4	身振りや手振りを大きくする	38.8
5	オーバーにリアクションする	36.4
6	いつもよりオーバーに笑顔を作ったり大きな笑い声を出す	32.2

会話の間が取りづらい(%) n=110 複数回答

1	声を大きく、はきはきと会話をする	51.8
2	うなずいたり、あいづちを大きくする	49.1
3	オーバーにリアクションする	25.5
4	身振りや手振りを大きくする	25.5
5	目を大きく動かしたりして表情を意識する	22.7
6	いつもよりオーバーに笑顔を作ったり大きな笑い声を出す	20.9

【14】 マスク着用の日常になってから、人とコミュニケーションを取る上で何が一番大事なと感じますか。

マスク着用でのコミュニケーションで大事なものは “目”の表情と“声”のトーン

マスク着用の日常でのコミュニケーションで大事なこと聞いたところ、「声を大きく・ハキハキと話す」(113人)と回答した方が最も多く、次いで「視線に気をつける・目を見る」(101人)、「目もとを大きく・表情を出す」(46人)と続きました。

【12】で多く挙げられていた、「声が聞こえづらい」「相手の表情を読み取りづらい」「自分の感情が伝わりづらい」といったマスク着用での悩みを解消する方法が上位に。口もとが隠れている分、“声”のトーンのほかに特に“目”の表情を大事にしている方が多いことがわかりました。

【全体(人) 自由回答】

1	声を大きく・ハキハキと話す	113
2	視線に気をつける・目を見る	101
3	目もとを大きく・表情を出す	46
4	声のトーンに気をつける	43
5	笑顔でいる	39
6	挨拶をする・コミュニケーションをする	37
7	気遣い・思いやり	29
8	オーバーリアクションをする	16
9	言葉遣いに気を付ける	16
10	身振り、手振りをする	15